

氏名 大越 絵実加 (OHKOSHI Emika)

所属 薬学部

職種 教授

生年月日 1971年

[履 歴]

[学 歴]

1993年3月 日本大学薬学部薬学科卒業

1996年3月 日本大学大学院薬学研究科薬学専攻博士前期課程修了

[学 位]

博士(薬学) 日本大学

[職 歴]

1993年4月 日本大学薬学部薬品化学研究室副手

1996年4月 日本大学薬学部生薬学研究室助手

1998年4月 株式会社エイエルエイ中央研究所研究員

2004年8月 株式会社キリンビール基盤技術研究所(横浜)研究員

2006年4月 奥羽大学薬学部助手

2009年11月 Research assistant professor temporary University of North Carolina
at Chapel Hill

2012年12月 明海大学歯学部MPL研究教育助教

2015年4月 青森大学薬学部准教授

2020年4月 青森大学薬学部教授

[所属学会]

日本薬学会、日本生薬学会(代議員)

[教育活動]

[担当科目]

天然物化学、医薬品化学、薬学基礎実習II、薬学概論I(薬草園見学)、卒業研究、
薬学特論I, IV, VII(分担)、総合演習II(分担)、薬学セミナー(Adv)、論文購読

[卒業研究指導]

2023年度 6年生 1名

2022年度 5年生 1名、6年生 1名

2021年度 4年生 1名、5年生 1名、6年生 2名

2020年度 4年生 1名、5年生 2名、6年生 2名

2019年度 4年生 2名、5年生 2名、6年生 1名

2018年度 4年生 2名、5年生 1名、6年生 2名

2017年度 4年生 1名、5年生 2名、6年生 4名

[ゼミ指導] 薬学部担任制で1~3学年1~2名を指導

[教育指導に関する特記事項]

1. 青森県登録販売者資格取得のため、県と協力し支援を行っている。
2. 薬用植物園見学を行っている。
3. 小中高の生徒に対し、体験型「理科実験」教材を開発・提供し、薬系人材のキャリア教育活動を行っている。
4. 地域素材を活用した持続可能な社会の創り手を育む体験型「ものづくり」教材の開発を行っている。(産学官連携、青森大学 SDGs 研究センター活動)

[研究活動]

[研究テーマ]

1. 天然物由来成分の単離・構造解析および生物活性
2. 機能性食品の素材開発
3. 地域自然素材を用いた ESD (Education for Sustainable Development) 教材の開発

[著書、論文、総説]

1. **Ohkoshi E.**, Horimatsu S., Tada T, Hitomi K., Nogami M., Ishii K. Proton-induced X-ray emission analysis of white birch milk., International Journal of PIXE VOL. 30, NO. 03n04 (2022) 査読有り
2. Murakami K., Umemura N., Adachi M., Motoki M., **Ohkoshi E.**, ABCG2, CD44 and SOX9 are increased with the acquisition of drug resistance and involved in cancer stem cell activities in head and neck squamous cell carcinoma cells., Experimental and Therapeutic Medicine, 24: 722 (2022) 査読有り
3. Wada K, Goto M, **Ohkoshi E.**, Lee KH, Yamashita H., Bioactivity inspired C19-diterpenoid alkaloids for overcoming multidrug-resistant cancer., Journal of natural medicines, 76: 796–802 (2022) 査読有り
4. Kajiura T, Umemura N, **Ohkoshi E.**, Ohta T, Kondoh N, Kawano S, Shikonin induces odontoblastic differentiation of dental pulp stem cells via AKT-mTOR signaling in the presence of CD44., Connective Tissue Research, 12: 1-9 (2021)
5. Nanbu T, Umemura N, **Ohkoshi E.**, Nanbu K, Sakagami H, Shimada J, Combined SN-38 and gefitinib treatment promotes CD44 degradation in head and neck squamous cell carcinoma cells., Oncology reports, 39: 367-375 (2018)
6. **Ohkoshi E** and Umemura N, Induced overexpression of CD44 associated with resistance to apoptosis on DNA damage response in human head and neck squamous cell carcinoma cells., International Journal of Oncology, 50: 387-395 (2017)
7. Sumi S, Umemura N, Takayama E, **Ohkoshi E.**, Adachi M, Mizuno-Kamiya M, Inagaki T, Kawaki H, Sumitomo S, Kondoh N, Metastasized murine oral squamous cell carcinoma cells induce intratumoral polymorphonuclear myeloid derived suppressor cells., Oncology reports, 37: 2897-2904 (2017)

8. Nakagawa-Goto K, Taniguchi Y, Watanabe Y, Oda A, **Ohkoshi E**, Hamel E, Lee KH, Goto M. Triethylated chromones with substituted naphthalenes as tubulin inhibitors., *Bioorganic & Medicinal Chemistry*, 24:6048-6057(2016)
9. Umemura N, **Ohkoshi E**, Tajima M, Kikuchi H, Katayama T, Sakagami H., Hyaluronan induces odontoblastic differentiation of dental pulp stem cells via CD44., *Stem Cell Research & Therapy*, 7:135- 147 (2016)
10. Wang SB, Cui MT, Wang XF, **Ohkoshi E**, Goto M, Yang DX, Li L, Yuan S, Morris-Natschke SL, Lee KH, Xie L. Synthesis, biological evaluation, and physicochemical property assessment of 4-substituted 2-phenylaminoquinazolines as Mer tyrosine kinase inhibitors., *Bioorganic & Medicinal Chemistry*, 24:3083-92 (2016)

(他 1998 年～2015 年 37 報原著論文査読有)

[学会発表] 学生筆頭発表 35 件

1. 多田 智美¹、堀松 星翔^{3,4}、三浦 裕也³、**大越 絵実加**^{1,2} (1 青森大薬、² 青森大 SDGs 研セ、³ 国際医福大院薬、⁴ 丸大サクラキ薬局) 高校生のキャリア形成を推進する地域薬剤師との交流 2023 年 03 月日本薬学会 143 年会 (札幌)
2. 岸田 皐¹、梅村 直己²、宮崎 裕美³、**大越 絵実加**¹ (1 青森大学薬学部、² 朝日大歯、³ 防衛医科大研セ) ナフトキノンの多剤耐性口腔がん細胞に対する免疫原性細胞死の誘導 2023 年 03 月日本薬学会 143 年会 (札幌)
3. 堀松 星翔^{1,2}、岸田 皐³、多田 智美³、小笠原 玲生³、中村 北斗³、天内 博康³、野上 光博⁵、人見 啓太郎⁵、石井 慶造⁶、三浦 裕也¹、**大越 絵実加**^{3,4} (1 国際医福大院薬、² 丸大サクラキ薬局、³ 青森大薬、⁴ 青森大 SDGs 研セ、⁵ 東北大院工、⁶ 東北大サイクロロン RI セ) 地域素材を活用した持続可能な社会の創り手を育む「ものづくり」を目指した取組 2023 年 03 月日本薬学会 143 年会 (札幌)
4. 堀松 星翔^{1,2}、三浦 裕也¹、水野 憲一³、**大越 絵実加**^{3,4} (1 国際医福大院薬、² 丸大サクラキ薬局、³ 青森大薬、⁴ 青森大 SDGs 研セ) 中学生を対象とした「主体的・対話的で深い学び」を促す理科実験プログラムの学習効果と応用 2022 年 09 月日本生薬学会第 68 回年会 (Web 松山大学)
5. 堀松 星翔^{1,2}、三浦 裕也¹、水野 憲一³、**大越 絵実加**^{3,4} (1 国際医福大院薬、² 丸大サクラキ薬局、³ 青森大薬、⁴ 青森大 SDGs 研セ) 地方創生を基盤とする持続可能な社会の創り手を育む ESD 教材の開発 2022 年 08 月第 7 回日本薬学教育学会大会 (Web 北里大学)
6. 多田 智美¹、堀松 星翔²、水野 憲一¹、**大越 絵実加**^{1,3} (1 青森大薬、² 丸大サクラキ薬局、³ 青森大 SDGs 研セ) 地域薬剤師との交流による中学生のキャリア発達能力の習得・育成効果の検証 2022 年 08 月第 7 回日本薬学教育学会大会 (Web 北里大学)
7. 岸田 皐¹、梅村 直己²、宮崎 裕美³、水野 憲一¹、**大越 絵実加**¹ (1 青森大薬、² 朝日大歯、³ 防衛医科大研セ) 多剤耐性を獲得した転移性口腔がんのナフトキノンをを用いたネク

ロプトース誘導メカニズムの解明 2022 年 03 月日本薬学会 142 年会 (Web 名古屋) 2022 年 3 月 25-28 日 日本薬学会 142 年会学生優秀発表賞 (ポスター) 受賞

8. 堀松星翔¹、水谷征法¹、多田智美¹、水野憲一¹、三浦裕也³、大越絵実加^{1,2}
中学生を対象とした理科実験教材による「学びに向かう力」を育成する内発的動機づけの検証 (¹青森大薬、²青森大 SDGs 研セ、³国際医福大薬) 日本薬学会 142 年会 (Web 名古屋) 2022 年 3 月 25-28 日
9. 多田智美¹、堀松星翔¹、水野憲一¹、大越絵実加^{1,2} 地域薬剤師との交流が中学生の職業観にもたらす効果 (¹青森大薬、²青森大 SDGs 研セ) 日本薬学会 142 年会 (Web 名古屋) 2022 年 3 月 25-28 日
10. 水谷征法¹、多田智美¹、大越 絵実加^{1,2}、水野 憲一¹ 高大連携プログラム「高校生科学研究コンテスト」参加者のアンケート調査からみる地域における青森大学薬学部が目指す方向性 (¹青森大薬、²青森大 SDGs 研セ) 日本薬学会 142 年会 (Web 名古屋) 2022 年 3 月 25-28 日
11. **Emika Ohkoshi**¹, Airi Kon¹, Hiromi Miyazaki², Naoki Umemura³, Induction of necroptotic cell death and mitochondrial dysfunction using shikonin on multidrug resistant head and neck squamous cell carcinoma (1. Faculty of Pharmaceutical Sciences, Aomori University, Aomori, Japan. 2. Division of Traumatology, Research Institute, National Defense Medical College, Tokorozawa, Saitama, Japan. 3. Oral Biochemistry, Asahi University Graduate School of Dentistry School of Dentistry, Mizuho, Gifu, Japan.) Pacificchem 2021 The International Chemical Congress of PACIFIC BASIN SOCIETIES 2021 Honolulu, Hawaii, USA; December 16-21, 2021
12. Seika Horimatsu, Norikazu Mizuno, **Emika Ohkoshi**, Development of instructional materials for introductory chemistry-based experiments with systems thinking approach on middle school students, and the questionnaire survey. (Faculty of Pharmaceutical Sciences, Aomori University) Pacificchem 2021 The International Chemical Congress of PACIFIC BASIN SOCIETIES 2021 Honolulu, Hawaii, USA; December 16-21, 2021
13. 堀松 星翔¹、水野 憲一¹、大越 絵実加^{1,2} (¹青森大薬、²青森大 SDGs 研セ) 中学生を対象とした理科 (化学) 実験教材による主体的・対話的で深い学びの検証 2021 年 08 月第 6 回日本薬学教育学会大会 (Web 名城大学)
14. 多田 智美¹、柴田 雅之¹、堀松 星翔¹、今 藍理¹、網野 佳奈¹、岡島 未槻¹、水野 憲一¹、大越 絵実加^{1,2} (¹青森大薬、²青森大 SDGs 研セ) 地方創生 SDGs (持続可能な開発目標) に基づいた青森県の特色ある天然素材の開発及び取組における高校生の意識調査 2021 年 08 月第 6 回日本薬学教育学会大会 (Web 名城大学)
15. 盛 愛¹、大越 絵実加¹ (¹青森大薬) 甘草配合漢方処方『桂枝湯』を基本とする処方に含まれるグリチルリチン酸量の検証 2021 年 03 月日本薬学会 141 年会 (広島)
16. 今 藍理¹、梅村 直己²、宮崎 裕実³、大越 絵実加¹ (¹青森大薬、²朝日大歯、³防衛医大・外傷研) シスプラチン耐性を獲得した転移性口腔がんのナフトキノンをを用いた細胞死誘導メカニズムの解明

17. 堀松 星翔¹、佐藤 昌泰¹、幸坂 英明¹、三浦 裕也¹、大越 絵実加^{1,2} (¹青森大薬, ²青森大 SDGs 研セ) 高校生を対象とした薬学的な概念の形成を図る理科実験教材の開発 2021 年 03 月日本薬学会 141 年会 (広島)
18. 網野 佳奈¹、堀松 星翔¹、三浦 裕也¹、佐藤 昌泰¹、大越 絵実加^{1,2} (¹青森大薬, ²青森大 SDGs 研セ) 高校生に実施した体験型の薬学プログラム(アズノール軟膏の成分と調製)に対する学習効果の検証 2021 年 03 月日本薬学会 141 年会 (広島)
19. 岡島 未槻¹、浅田 彩季¹、網野 佳奈¹、佐藤 宥人¹、野口 日向子¹、堀松 星翔¹、盛 愛¹、多田 智美¹、三浦 裕也¹、佐藤 昌泰¹、大越 絵実加^{1,2} (¹青森大薬, ²青森大 SDGs 研セ) 運動介入を伴う健康イベントが地域住民の意識向上に及ぼす影響 2021 年 03 月日本薬学会 141 年会 (広島)
20. 柴田 雅之¹、堀松 星翔¹、盛 愛¹、今 藍理¹、網野 佳奈¹、岡島 未槻¹、三浦 裕也¹、佐藤 昌泰¹、大越 絵実加^{1,2} (¹青森大薬, ²青森大 SDGs 研セ) 地方創生 SDGs (持続可能な開発目標) にもとづいた北東北の特色ある天然素材の開発 2021 年 03 月日本薬学会 141 年会 (広島)
21. 多田 智美¹、堀松 星翔¹、盛 愛¹、網野 佳奈¹、岡島 未槻¹、今 藍理¹、三浦 裕也¹、佐藤 昌泰¹、大越 絵実加^{1,2} (¹青森大薬, ²青森大 SDGs 研セ) 地方創生 SDGs (持続可能な開発目標) の取組における高校生の意識調査 2021 年 03 月日本薬学会 141 年会 (広島)
22. 佐藤 昌泰¹、堀松 星翔¹、水野 憲一¹、三浦 裕也¹、大越 絵実加^{1,2} (¹青森大薬, ²青森大 SDGs 研セ) 中学生を対象とした薬学的な概念の形成を図る理科(化学)実験教材の教育効果 2021 年 03 月日本薬学会 141 年会 (広島)
23. 水谷 征法¹、大越 絵実加^{1,2}、多田 智美¹、佐藤 昌泰¹、三浦 裕也¹、水野 憲一¹ (¹青森大薬, ²青森大 SDGs 研セ) 高大連携プログラム「高校生科学研究コンテスト」参加者のアンケート調査からみる地方創生を目指す青森大学薬学部の役割 2021 年 03 月日本薬学会 141 年会 (広島)
24. 佐藤 昌泰¹、堀松 星翔¹、幸坂 英明¹、三浦 裕也¹、大越 絵実加^{1,2} (¹青森大薬, ²青森大 SDG 研セ) 高校生に実施した薬学プログラム (アズノール軟膏の成分と調整) による薬学への関心および動機づけの検証 2021 年 02 月 13 日 AOMORI SIX 合同学修研究発表会 (青森市産官学連携プラットフォーム Web 開催)
25. 網野 佳奈¹、堀松 星翔¹、三浦 裕也¹、佐藤 昌泰¹、大越 絵実加^{1,2} (¹青森大薬, ²青森大 SDGs 研セ) 薬学的な理科 (化学) 実験教材による中学生の[主体的・対話的で深い学び]に対する学習効果 2021 年 02 月 13 日 AOMORI SIX 合同学修研究発表会 (青森市産官学連携プラットフォーム Web 開催)
26. 岡島 未槻¹、浅田 彩季¹、網野 佳奈¹、佐藤 宥人¹、野口 日向子¹、堀松 星翔¹、盛 愛¹、多田 智美¹、三浦 裕也¹、佐藤 昌泰¹、大越 絵実加^{1,2} (¹青森大薬, ²青森大 SDGs 研セ) コロナ禍における地域住民への健康イベントによる効果の分析 2021 年 02 月 13 日 AOMORI SIX 合同学修研究発表会 (青森市産官学連携プラットフォーム Web 開催)
27. 堀松 星翔¹、佐藤 昌泰¹、福井 雅之¹、三浦 裕也¹、大越 絵実加^{1,2} (¹青森大薬, ²青

森大地域貢献セ) 中高生を対象とした薬学的な概念の形成を図る化学実験教材の開発とプログラムの実践的検証 2020年09月第5回日本薬学教育学会 Web大会(帝京)

28. 佐藤 昌泰^{1,2}、金光 兵衛^{1,2}、天内 博康¹、三浦 裕也¹、大越 絵実加^{1,3} (¹青森大薬、²青森大薬学教育セ、³青森大SDGs研究セ) 高大連携プログラムの一環としての理科(生物)実験教材の開発 2020年09月12日第5回日本薬学教育学会 Web大会(帝京)
29. 多田 智美^{1,2}、佐藤 昌泰¹、浅田 彩季¹、網野 佳奈¹、岡島 未槻¹、小川 達也¹、佐藤 宥人¹、相馬 理佐¹、邊見 華菜恵¹、三浦 裕也¹、大越 絵実加^{1,3} (¹青森大薬、²青森大薬・薬学教育セ、³青森大SDGs研究セ) 青森県地域住民を対象としたフレイル対策のためのヘルスリテラシー調査 2020年09月12日第5回日本薬学教育学会 Web大会(帝京)
30. 盛 愛¹、大越 絵実加¹ (青森大薬¹) 甘草配合漢方処方「桂枝湯類」を構成する生薬によるグリチルリチン酸含量への影響 2020年03月日本薬学会140年会(京都)
31. 佐藤 昌泰¹、金光 兵衛¹、天内 博康¹、水野 憲一¹、三浦 裕也¹、大越 絵実加^{1,2} (青森大薬¹、青森大地域貢献セ²) 中高生を対象とした薬学的な概念の形成を図る理科(生物)実験教材の開発 2020年03月日本薬学会140年会(京都)
32. 多田 智美^{1,2}、佐藤 昌泰¹、浅田 彩季¹、網野 佳奈¹、岡島 未槻¹、小川 達也¹、佐藤 宥人¹、相馬 理佐¹、邊見 華菜恵¹、三浦 裕也¹、大越 絵実加^{1,3} (青森大薬¹、薬学教育セ²、青森大地域貢献セ³) 青森県地域住民におけるフレイルの認知度調査 2020年03月日本薬学会140年会(京都)
33. 堀松 星翔¹、佐藤 昌泰¹、福井 雅之¹、三浦 裕也¹、大越 絵実加^{1,2} (¹青森大薬、²青森大地域貢献セ) 中高生を対象とした薬学的な概念の形成を図る化学実験教材の開発とプログラムの実践的検証 2020年03月日本薬学会140年会(京都)
34. 堀松 星翔¹、佐藤 昌泰¹、福井 雅之¹、三浦 裕也¹、大越 絵実加^{1,2} (¹青森大薬、²青森大地域貢献セ) 中高生を対象とした薬学的な概念の形成を図る化学実験教材の開発とアンケート調査 2020年01月11日 AOMORI SIX 合同学修研究発表会(東奥日報新町ビル3F)

(他 1994年~2019年国際学会2演題を含む54演題学会発表)

[外部資金獲得状況] 合計15件

1. 学術研究助成補助金 令和02-04年度 基盤研究B(一般)(代表者:宮崎 裕実、分担:大越 絵実加) ¥14,040,000 「ミトコンドリア機能と品質管理機構から捉える重症病態の分子病態研究」
2. 学術研究助成基金助成金 令和02-06年度 基盤研究C(一般)(代表者:佐藤 昌泰、分担:大越 絵実加) ¥4,550,000 「学生エンゲージメントを促す薬学教育の実践」
3. 学術研究助成基金助成金 令和02-04年度 基盤研究C(一般)(代表者:梅村 直己、分担:大越 絵実加) ¥4,290,000 「歯髄幹細胞の象牙芽細胞への分化誘導メカニズムの歯科臨床応用」

4. 学術研究助成基金助成金 2017-2019 年度 基盤研究 C (一般) (代表者:梅村 直己、分担:大越 絵実加) ¥4,680,000 「口腔がん幹細胞の転移巣形成機構の解明」
 5. 学術研究助成基金助成金 平成 29 年度-平成 31 年度 基盤研究 C (一般) (代表者:足立 誠、分担:大越 絵実加) ¥4,420,000 「低酸素環境下に置ける口腔癌のがん幹細胞に対する新規分子標的治療の開発」
 6. 平成 28 年度-30 年度ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～ KAKENHI(研究成果の社会還元・普及事業) (代表者:大越 絵実加) (H30 年度 410,000 円、H29 年度 329,000 円、H28 年度 344,000 円)
 7. 公益財団法人青森学術文化振興財団 地域の振興に係る研究事業 (一般) (代表者:佐藤 昌泰, 研究分担者:大越 絵実加) (R03 年度 300,000 円、R02 年度 285,000 円、H31 年度 276,000 円)
 8. 公益財団法人青森学術文化振興財団地域の振興に係る研究事業 (一般枠) (実施代表者:三浦裕也、実施担当者:大越 絵実加) (H30 年度 300,000 円)
 9. 青森市まちなかフィールドスタディ支援事業補助金 (代表者:三浦 裕也(薬学部長), 研究分担者:大越 絵実加) (H28, 27 年度各 500,000 円)
 10. 学術研究助成基金助成金 平成 26-28 年度 基盤研究 C(代表者:大越 絵実加)¥4,940,000 口腔癌がん幹細胞の標的治療(抗 CD44 療法)後に誘発される多剤耐性化の解明と克服
- [社会貢献活動]合計 46 件
1. 「総研だより」(青森大学附属総合研究所) 寄稿
 - 第 4 巻第 4 号「地域の持続可能な開発を支える人材の育成について-武田薬品工業株式会社 京都薬用植物園の取組- (青森大学 SDGs 研究センター薬学部の活動報告)」
 - 第 4 巻第 3 号「青森県の特色ある天然素材を用いた「ものづくり」の取組 (青森大学 SDGs 研究センター薬学部の活動報告)」
 - 第 3 巻第 2 号「SDGs 研究センター薬学部 活動報告(令和 3 年度薬学部卒業研究発表会)」
 2. 地域自然素材を用いた ESD (Education for Sustainable Development) 体験型「ものづくり」学習教材の試験運用 (2022 年 11 月 26 日青森明の星中学高等学校) (2021 年 10 月 02 日青森山田高等学校)
 3. 出張講義:令和 4 年度未来塾「め(女)・お(男)・輝かせて」市民講義 黒石市企画財政部企画課 定員 30 名 講演内容「SDGs3, 4, 5 東北が生んだ活躍する女性 -女性化学者の先駆者:色彩の魔術師、博士 黒田チカ-」(2022 年 11 月 17 日黒石市立中部公民館 〒036-0541 黒石市北美町 1 丁目 65-1)
 4. 青森県発行 原子力広報誌『原子力だより AE』vol.152 (2022 Autumn) 特集「青森県量子科学センター[青森県の特色ある天然素材を用いた「ものづくり」の取組]」掲載
https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/energy/g-richi/files/AE152_web.pdf
 5. [平内町×青森大学の包括的連携協定事業] 平内町夜越山森林公園内ツバキ果実採集 (青森山田高等学校、青森明の星高等学校、(株)プランツプラネット、平内町) 2020 年～
 6. 青森県主催「環境活動ネットワーク交流会 2022」取組発表。薬学生 2 名 (6 年生 1

- 名、2年生1名) (2022年08月24日) ウェディングプラザアラスカ
7. 青森大学 SDGs 活動について撮影協力(ATV わっち!! 2022年5月4日放送 ATV 公式チャンネル You tube <https://youtu.be/rXuotgc6bVM>)
 8. 青森県中高生薬剤師体験セミナー (2015-2020年8月下旬(土・日)2日間開催)
共催:青森県教育委員会、青森県中高生定員120名
 9. 大館市中高生薬剤師体験セミナー (2015-2020年7月下旬(土)開催) 共催:秋田県大館市、中高生定員30名
 10. 高校生科学研究コンテスト(青森県高校生100名)(2017年~12月共催:青森県教育委員会) 青森県高校生による科学研究審査員
 11. 青森県高校生サイエンスキャンプ(2017-2018年8月上旬開催) 主催:青森県教育委員会、青森県高校生定員40名「身近にある薬用植物観察会」
 12. 観光産業の中核を担う人材育成講座-体験型観光商品を企画・実施できる中核観光人材の育成を目指す-(後援 国土交通省観光庁) [主催:青森大学・小樽商科大学共同開催] 2019-2020年10月モヤヒルズ青大ヒュッテ
 13. JT SDGs 貢献プロジェクト助成事業 [主催:青森大学観光文化研究センター] 2020年9月モヤヒルズ青大ヒュッテ
 14. 出張講義:医薬品以外の薬学分野ー機能性食品:天然物由来の肥満改善素材ー
(2019年12月5日生涯学習支援チーム沖館市民センター)
(2018年11月13日生涯学習支援チーム荒川市民センター)
(2017年1月8日つがる市立瑞穂小学校)
(2017年11月13日生涯学習支援チーム中央市民センター)
(2016年12月13日大野市民センター大会議室)
 15. 出張模擬講義:薬学部の紹介(2018年2月21日柴田女子高等学校)
大学見学模擬講義:「植物から医薬品へ」(2017年10月24日木造高校)
出張模擬講義:薬学部の紹介(2015年10月30日青森西高等学校)
 16. 出張講義:市民のための薬と健康フォーラム in とわだ
講演内容「一人ひとりに向き合う医療-Towada 紫-」
(2016年10月30日市民交流プラザ「タワーレ」) 十和田市稲生町18-33
 17. 出張薬剤師体験セミナー 高校生対象 各開催地 定員15名
(2016年9月17日むつ下北会場、18日弘前会場、19日五所川原会場)

[学内各種委員]

薬用植物園運営委員会委員長(2019年4月~)、薬学部自己点検委員会委員(2019年4月~)、青森大学図書委員(2022年4月~) 青森大学 SDGs 研究センター員(2019年4月~)、附属総合研究所運営委員(2023年4月~)